



はなみずき



学校だより
磐田市立竜洋西小学校

令和5年6月28日

～えがお かがやく にしのこ～

★右上のQRコードから、竜洋西小学校のホームページを御覧になれます★

6月会礼

校長 渡邊 真巳

【まず「あいさつから」～西の子の「あいさつ」はどうでしょう?～】

西の子出発の会で、全員が西の子丸に乗りました。そのときに西の子全員で確かめた、今年度の西の子のスローガンは何だったのでしょうか? 「〇〇〇〇から、やる気・勇気・元気 みんなとやってみようを広げよう」です。覚えてますね。まず「あいさつから」でした。みなさんは、どんな「あいさつから」始めていますか?



朝のあいさつの様子をビデオで観てみましょう。全員は映っていませんが、あいさつの姿から気付くことは何でしょう? よいあいさつはどんなあいさつでしょう?

※ビデオ「朝の昇降口でのあいさつの様子」が、機械の不具合で映すことができませんでした。

西の子の朝のあいさつはどうでしょう? 今日は、あいさつ運動をやっている計画委員会の委員長・副委員長にインタビューしてみます。6年生のM. Sさん、I. Sさん、どうぞ。

Q1 「西の子の朝のあいさつはどうでしょう。気持ちいいなあと思ったこと、うれしかったことを教えてください。」

A1 M. Sさん: 「1・2年生の明るく元気なあいさつが、とてもうれしいです。自分も頑張ろうという気持ちが出てきます」

A1 I. Sさん: 「会釈してくれる子がいて、すばらしいと思います。」

では、

Q2 「もっともっとすてきなあいさつができる西の子になるために、こうなるといいなあと考えていることを教えてください。」

A2 M. Sさん: 「登校班の班長さんがあいさつがもっとできるようになると、みんなももっとできるようになると思います。」

A2 I. Sさん: 「今は、30点ぐらいの出来だと思えます。あいさつがもっとできる西の子を目指したいと思えます。」

ありがとうございました。皆さんは、二人の話を聞いて、どんなことを考えましたか? 「いつでも」「どこでも」「誰とでも」気持ちのよいあいさつができることが全員に広がっていくために、どうすればいいのでしょうか?

友達や先生と、「あいさつから」の「考動」「みんなとやってみよう」を話し合っ、あいさつチャレンジを実行してみましょう。そして、「やってよかった」と思えるようなあいさつをみんなとしていきましょう。



竜洋中学校の生徒による
あいさつ運動

学校教育目標

「えがお かがやく にしのこ」の具現化に向けての取り組み

～徳育～

他者に心を寄せ 自ら判断し 正しい行動をとる

☆自分も友達も大切にする子

本校では、親しみでつながる人間関係作りを重視しています。子供の成長には、他者の存在が必要です。その他者とは、親しみが感じられ、働き掛けることができる人であり、友達、教師、保護者、地域の方たちなどです。

竜洋西小学校の合言葉に、「みんなとやってみよう⇒やってみよう」があります。子ども同士がかかわり合いながら考え、実行できる場をつくっていきます。また、「にしのこのやくそく」を子供たちがつくっていきます。仲間と一緒に、自分たちにとって必要なことはどんなことなのかを自分事として考え、やくそくをつくりまします。

新型コロナウイルスによる3年間は、「仲間とかかわりあい、切磋琢磨していくことが、子供たちの生活に大変重要であること」が再確認することができた期間でした。最後に、教師は、子供たちに共感的に接し、子供たちの表れに対して価値付けをします。そして、「一人も独りにしない」、安全・安心な学校づくりを進めていきます。



PTAコーナー

6月10日(土)に資源回収が行われました。朝早くから、回収、運搬作業を行っていただきました。

各御家庭並びに地域の皆様から、たくさんの新聞や雑誌などが集まりました。今回の資源回収で得られた収益は、図書購入や環境整備等、子供たちのために有効に活用させていただきます。

御協力ありがとうございました。

